

抄読会

婦人科疾患における

Patient Reported Outcome (PRO) による疾患管理について

博士課程 2 年 木村 智美

概要

患者報告アウトカム (Patient Reported Outcome: PRO) は、FDA ガイダンスにおいて「患者の回答について、臨床医や他の誰の解釈も介さず、患者から直接得られる患者の健康状態に関するすべての報告である」と定義されている。PRO により QOL や症状等に関する評価が可能であり、臨床試験の評価項目として用いられることもある。これまでに、同一の評価項目に関して、患者による評価と医師による評価には乖離があることが報告されており、近年、医療への患者参加の観点からも PRO の活用は注目が増している。

患者自身による健康状態の報告という点では、近年のスマートフォンの普及に伴い、自身の健康状態を Mobile Application (Mobile App) を用いて日常的に管理する機会が増えていく。Mobile App には、特定の疾患患者を対象としたものもあるが、疾患の有無に関係なく広く利用されているものもあり、特に女性においては、Mobile App を用いて月経や妊娠に関する自己管理を行うケースは少なくない。

月経に関連する症状を呈する婦人科疾患は多岐に渡り、女性が、自身の月経の異常を認知し医療機関を受診することは、婦人科疾患の早期発見および治療において非常に重要である。そこで、患者（女性）自身によって報告された月経や随伴症状に着目し、疾患認知および婦人科受診行動に変化をもたらす Mobile App による介入方法を検討する。

本抄読会では、Patient Reported Outcome (PRO) による症状モニタリングに関する先行研究を紹介するとともに、今後の予定について報告する。